6. 自転車駐車場の検討

① 自転車駐車場の課題解決の方向性

自転車駐車場の現況課題、留意点

・自転車駐車場が足りず、特に駅直近や商店街周辺で放置自転車が多く見られる。

・自転車利用実態調査結果によると蒲田駅周辺の自転車駐車場について、現況の収容台数の場合、将来は、東口、西口共に、自転車駐車場が不足すると推計される。

・駅直近の駐車場利用率が高い一方、余裕のある駐車場もあるなど既存の自転車駐車場の利用率にバラつきがある。

・蒲田駅の端末交通手段として歩行者、自転車の移動者数が増加しており、自転車と歩行者の事故が懸念される。

課題解決の方向性

【課題解決の方向性①】

・蒲田駅周辺では、限られた公共空間で自転車駐車場のための用地の確保が困難なため、道路や駅前広場の地下などの活用検討を図るとともに、民地の活用等により収容台数の確保を図る。

（新規の自転車駐車場整備）
・地下機械式駐車場や路上駐輪帯など公共空間を活用した駐車方式の検討
・買物利用者や地区内従業者の特性に配慮した駐車方式の検討
・駅前広場及び周辺における歩行者、自転車の動線に配慮した自転車駐車場の配置案の検討

（既存の自転車駐車場の収容能力向上）
・立体化、ラック整備等による既存自転車駐車場の収容能力の向上

【課題解決の方向性②】

・駅端末利用者、買物利用者や地区内従業者などの利用者区分・特性を考慮し、自転車駐車場の整備や既存施設の有効活用を図る。

・駅からの距離、時間帯別利用状況などに応じた柔軟な料金体系の検討

【課題解決の方向性③】

・蒲田駅を中心とする地区の関係者や区民との連携により、自転車の駐車マナーや走行マナーに関する改善・啓発施策を推進する。